

# 多伎アワビ幼稚仔保育場調査

## 1. 目的

保育場内の状況をモニタリングする。

## 2. 調査期日

昭和58年5月19日, 8月5日, 8月29日, 9月9日, 10月17日, 12月8日, 12月22日

## 3. 調査員

鹿島浅海分場 勢村 均・由木雄一・山本能久

県沿整協会 飯島真人

## 4. 方法

時期により若干相違するが, 基本的な作業はアワビ相対密度を求めるため保育場内数カ所(2-6カ所)を潜水して1カ所5分間観察で発見できたアワビの種類, 個体数, 付着部位, を記録すること, および植生調査の, 1カ所で50cm×50cm方形枠の坪刈りを1回行なうことである。

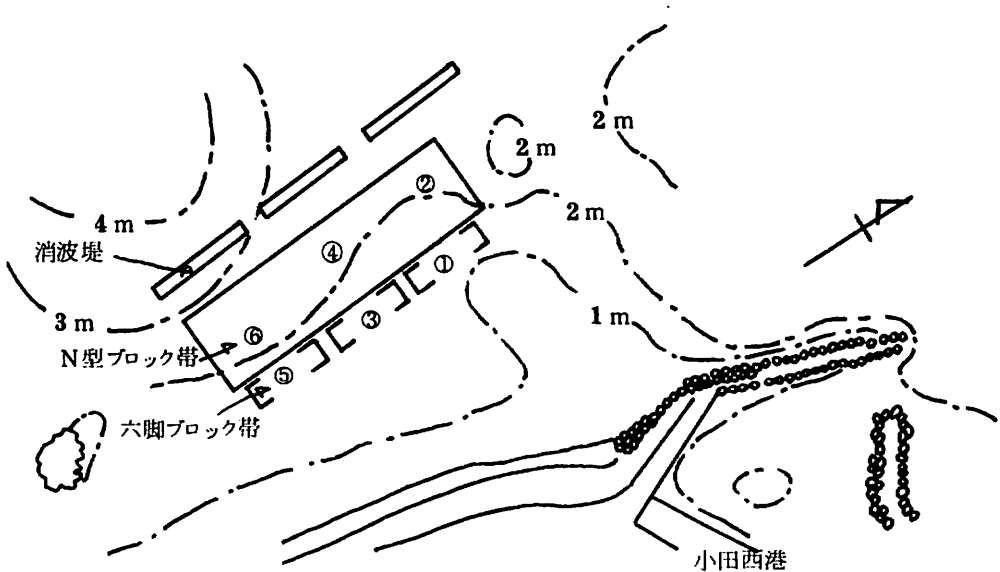


図1 観察点(○印)

## 5. 結 果

### 1) アワビ相対密度

相対密度は調査期間中、ほぼ幼稚仔全域で4-5.5個体/人・5分間と安定していた。

N型ブロック帯と六脚ブロック帯では、六脚ブロック帯での密度が若干高かった。

殻長組成は、いずれの月も4-6cm, 10-14cmに山がみられた。

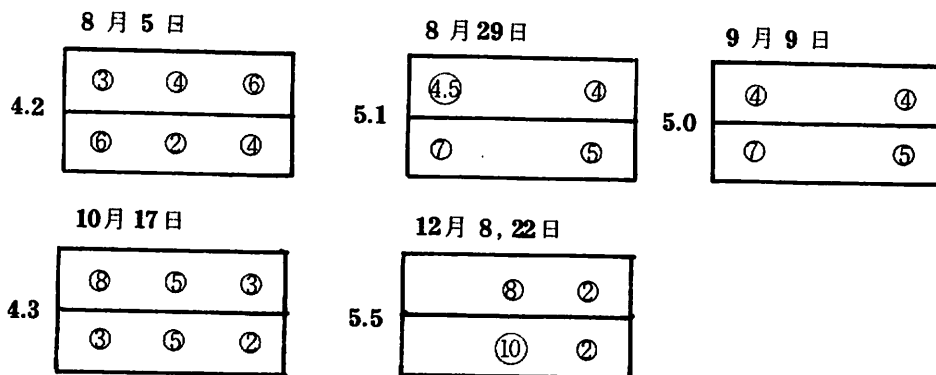


図2 アワビ相対密度

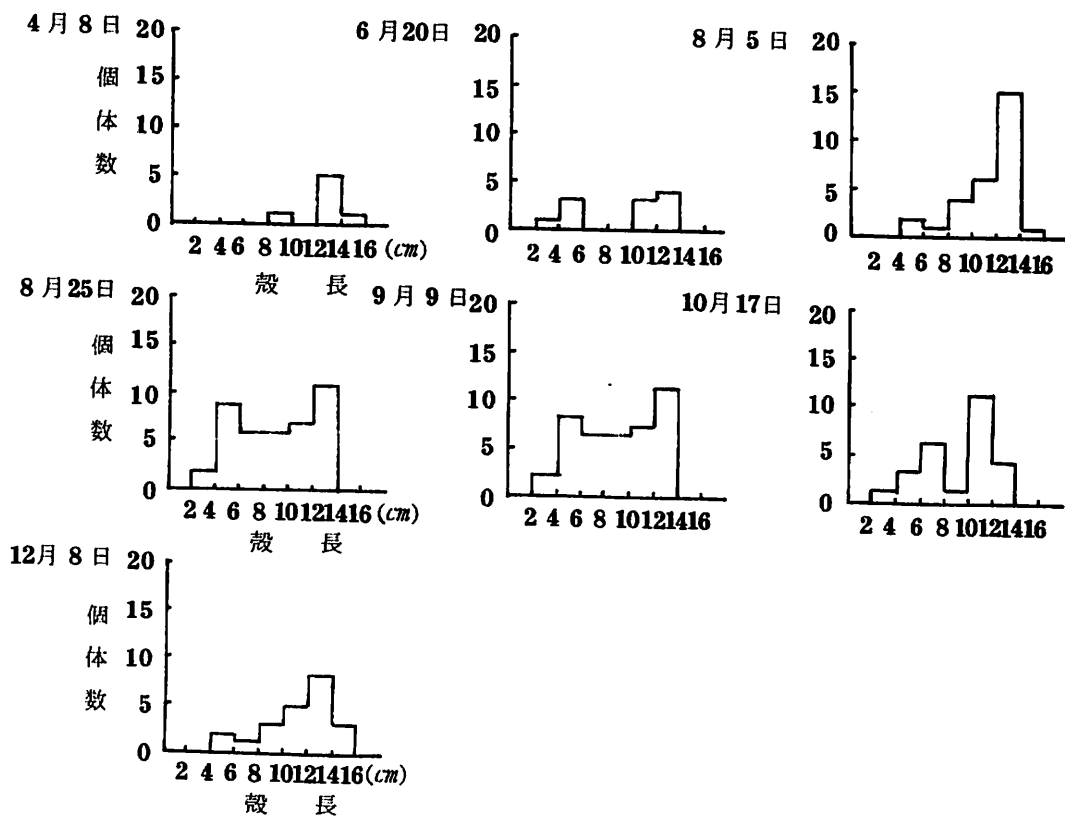


図3 クロアワビ殻長組成

## 2) 植 生

出現した海藻は19種であった。現存量は六脚ブロック帯では5月、8月に多く、10月、12月に少なかった。N型ブロック帯では反対に5月、8月に少なく、10月、12月に多かった。優占種は、六脚ブロック帯では主としてソゾ類であり、N型ブロック帯では主としてモク類であった。海藻種別には、イソモクは5月に多く、他の月は少なかった。オオバモクは8月、10月に多く、12月、5月に少なかった。ヤツマタモクは5月、8月は少なく、10月、12月と増加した。ソゾ類は、5月に最も多く、8月、10月、12月と減少した。

表1 坪 刈 り 結 果

(g/m<sup>2</sup>)

	5月19日			8月5日		10月17日		12月8, 22日	
	六脚	N型	天然岩	六脚	N型	六脚	N型	六脚	N型
タマジユズモ				+					
ミル								160	
イソモク		3,760			120	240	288		
フシスジモク			800						
オオバモク			440		3,000	68	3,520		240
ヤツマタモク					228	48	1,812		5,240
ノコギリモク					92				
トゲモク					108	92			
アカモク						28			
ヨレモク						28	240		
ホンダワラ					40				
ワカメ			720						
ツノマタ						+			
ナミウチワ			80	48		8			
テングサ	40			500	572	28	+		
ソゾ	4,880			2,532	) 400	28		) 400	
ウスバワツナギソウ				+					
マルバワツナギソウ									
イバラノリ				144	188				
合 計	4,920	3,760	2,040	3,224	4,748	568	5,860	560	5,480

## 3) 本年度漁獲アワビ殻

保育場内で漁獲が行われたのは58年1月30日、8月、59年2月17日、3月9日の4回であった。8月は潜水採捕、その他は覗き突きであった。

出漁船数は7隻、時間は1月1時間30分、残りは1時間であった。

58年1月は56.3kg、8月は63kg(うちクロアワビ61.2kg)、59年2月は50.6kg、3月は22kgの漁獲量であった。天然個体の混獲率は1月54.5%、2月39.5%、3月14%であった。

なお、1980年5月30日に行なわれた、平均殻長23.5mmのクロアワビ稚貝1450個体の、テグスによる標識放流個体が本年度になって発見採捕された。それぞれ、58年10月17日①殻長113.5mm、全重量159.2g ②112.1mm、153.7g 12月9日①108.7mm、160.5g 59年2月17日①108.3mm、180.7g ②121.9mm、199.3g ③144.4mm、314.4g ④117.4mm、174.8g ⑤132.6mm、286.3g、⑥113.7mm、234.7g 3月9日①131.8mm、294.5g ③122.7mm、255.1gであった。